

- P2 経営支援レポート
元気印 ズームアップ
- P4 知事を囲む商工会代表者会議
- P5 青年部・女性部だより
- P6 Information 商工会だより
- P8 掲示板

ニュースクリップ News Clip

あ 商 ぎ 不 ない 工 たら す 人 び と ぶ ぐ し ま 商 ・ 工 ・ 人

2020.3.1
Vol. 388



P2に掲載

会津の恵みに恩返し!!

湯川村・合同会社ドウミール



P3に掲載

高品質りんごの追求
りんごのブランド化を目指して

二本松市・斎藤りんご園



元気印

経営支援レポート

ズーム

アップ

県内2地域の商工会からがんばっている会員企業をご紹介します。みなさんの経営のヒントになるお話もたくさんいただきました。是非、ご感想を福島県商工会連合会までEメールにてお寄せください。(f-wing@do-fukushima.or.jp)

県北

あだたら商工会

高品質りんごの追求
りんごのブランド化を目指して



斎藤りんご園

代表 齋藤 政廣氏

住所 〒964-0433

福島県二本松市百目木字平175

連絡先 TEL 0243-56-2135 FAX 0243-56-2143

URL https://ringoya.cloud-line.com/

【事業所紹介】



当園は昭和48年阿武隈高原に位置する羽山(標高470m)の高地にりんご生産農家として創業しました。この地区で生産されるりんごは「羽山りんご」と言い、昼夜の大きな温度差により身の引き締まった糖度の高い香なりんごです。

りんごは約30,000㎡の畑で16種類、3,750本の木を育てています。高品質なりんごを生産するため、「ジャパンバイオファーム」の指導を受け完全有機肥料栽培技術で、福島県より「エコファーマー」の認定を受け農業を極力使用せず栽培しております。昨年は品質向上の努力の甲斐があり、「オーガニック・エコフェスタ2019栄養価コンテスト」(一社日本有機農業普及協会主催)りんご部門において最高賞である「最優秀賞」を受賞することができました。

また、昨年には県内で導入している農家が数少ない高性能な選果機を導入し、りんごを品質ごと12階級に選果できるようになりました。これによりお客様の要望に合わせたりんごの提供が可能となったことで、販路拡大に繋がり、高級フルーツ店や日本橋ふくしま館からの受注も獲得しました。

今後も更なる高品質りんごの生産に努め、販路拡大を図り当園のりんごの「ブランド化」を目指していきたいと思ひます。



【商工会支援内容】

当園は平成30年に商工会に加入したばかりです。加入申込手続きをした日に二本松市の繁盛店づくり補助金活用を提案されました。当園ではりんごジュースも販売しておりますが、この瓶のラベルが10年以上前に作成したものでデザイン性もありませんでしたので、この補助金を活用し商工会の支援を受けながらラベルを一新しました。

当園では前述した高性能の選果機導入を数年前から検討していたこともあり、平成30年度に「ものづくり補助金」申請をしたが不採択であったことを商工会へ相談したところ、再び申請でき、昨年無事採択され申請支援から継続した実行支援を受けることができました。

また、選果機導入により高品質なりんごの選果は可能になるが、このりんごをPRをする手段も必須であると指導を受け、持続化補助金を活用しりんごのパッケージ及びパンフレットを作成しりんごの「ブランド化」と販路拡大を図り、商工会と一緒に日本橋ふくしま館への出展やパンフレット配布によるPRを行いました。

これらの成果が、日本橋ふくしま館の受注や新規顧客獲得、客単価アップに繋がっております。

商工会に加入したばかりの当園ですが、各種補助金の活用提案、事業計画書策定、事業実行まで商工会には支援していただき感謝しております。今後も「まずは商工会に相談」していきたいと思ひますので引き続きご支援をお願い致します。



会津

湯川村商工会

会津の恵みに恩返し!!



合同会社ドゥミール

代表社員 根本 ルミ氏

住所 〒969-3554

福島県河沼郡湯川村大字熊ノ目字三ツ江2428番地7

連絡先 TEL 0241-23-6148

営業時間 本店 10:00~18:00 ナチュラルレ 10:00~17:00

定休日 火曜日

URL http://www.domille-gelato.com/

【創業のきっかけと店舗紹介】

~祖母がいつもおやつに作ってくれた手作りのお菓子はとっても美味しかった~小さい頃の記憶が忘れられずお菓子作りが大好きな大人に成長。自身が作っていた米粉のお菓子が評判となり平成22年会津坂下町に「米粉の菓子工房ドゥミール」をオープンしました。

ところがオープンして3か月後に東日本大震災が発生。「米粉の菓子工房ドゥミール」からお客様の姿がなくなりました。そんな中、風評被害に苦しむ農家の方との出会いをきっかけに、安全が確認できても風評被害により野菜や果物を大量に廃棄しなければならない現実を見て、「農家さんを笑顔にしたい」という思いが強くなり「会津の恵みに恩返し」を理念に、平成26年10月、道の駅あいづ湯川・会津坂下に「12か月のジェラート」をオープン。更に平成29年3月に湯川村に本店洋菓子店「ドゥミール」、令和2年1月、本店隣に、「ナチュラルレ」を開店しました。

本店では米粉を使った「バウムクーヘン」や「シフォンケーキ」等洋菓子

を販売。「ナチュラルレ」では甘さ控えめの「低糖質ジェラート」や野菜をふんだんに使った「ピッツア」や飲み物を提供しています。



【商工会の支援内容】

湯川村に洋菓子店オープンと同時に商工会へ加入しました。湯川村は人口3,100人の県内で一番小さな農業が主な産業の村です。創業時湯川村には洋菓子店は勿論、飲食店も1件もありませんでした。そんな湯川村に平成29年は4件の創業がなされ、村の創業支援制度を活用しています。

開業時、店の顔となる「ショークース」購入に持続化補助金を活用いたしました。その後、平成30年、カフェと間違えて入店してくる方が多いため(看板がなかった)2回目の持続化補助金を活用して看板を設置しております。

令和元年度は、福島県地域創生総合支援事業の事業計画書の作成にもお力をいただき、無事「ナチュラルレ」をオープンすることができました。支援のおかげで開店の準備にも専念することができとても助かりました。そんなとき商工会より再度補助金活用の提案がありました。それが本年度新しく創設された補助金「いきいき補助金」です。「ナチュラルレ」では「低糖質ジェラート」以外に客単価向上のため、軽食導入を考えていました。そのメニューのための設備機械導入に「いきいき補助金」を申請し採択に至りました。



【今後に向けて:商工会より】

湯川村は「会津のへそ」と言われ立地的には申し分のないところですが、「湯川米」だけが注目され、「米」以外に産品のないことが課題となっています。

そんな中、女性経営者として、ジェラートを通して、人や地域、農産物などの交流拠点として活動され成果を上げています。今後は更に農家さんから持ち込まれた野菜果物を使い「世界にひとつだけ」オリジナルジェラートをつくることで地域コミュニティスペースが誕生することを期待します。

【事業者の声】

事業拡大は不安でしたが「会津の恵みに恩返し!!」の経営理念のもと地域の皆様に支えられてここまで来ました。村民は勿論のこと村外の方にも気軽に立ち寄れる店づくりを目指していきます。是非ご来店をお待ちしております。

最後に湯川村にもっと多くのお店が出来、シナジー効果により地域活性化を図っていければと考えています。

青年部 だより

青年部全国大会『新 ~平成から令和へ 新たな時代への商タイム!~』



感謝状受賞者

令和元年12月4日~5日に愛知県「名古屋国際会議場」において、第21回商工会青年部全国大会が開催されました。福島県からは88名の参加でした。

式典の中で行われた大会顕彰では、日頃の活動が評価され、まち(地域)づくり部門として四倉町商工会青年部が、感謝状部門では矢祭町商工会青年部の押田洋平さんが受賞されました。

主張発表大会では、東北北海道ブロック代表として、宮城県丸森町商工会青年部の阿部秀一さんが発表を行いました。惜しくも最優秀賞は逃しましたが、堂々とした発表に感動しました。



まち(地域)づくり部門表彰
(四倉町商工会青年部)



集合写真

商人ネットワークでは矢祭町商工会青年部のアートポップマシコ・増子雄一さんが参加しました。自社商品PRは魅力的で分かりやすく、出展ブースは多くの青年部員で賑わっておりました。

他にも、野球評論家の落合博満氏による基調講演や、Grow with Googleについての特別講演など、充実した2日間となりました。

令和元年度知事を囲む商工会代表者会議が、十一月十四日、福島市 ウイングエルティで開催された。



要望書手交 善田会長から内堀知事へ

代表者会議では県内商工会長等約九十名が参加し、中小企業・小規模事業者への支援強化などを求める要望書を内堀知事に手渡した。



善田県連会長挨拶

このあと、「令和元年台風第十九号」等に係る中小企業の支援策について」と題し、内堀知事の講話が行われた。



謝辞 渡辺静吉大越町商工会長より

表彰等が執り行われ、渡辺静吉大越町商工会長より謝辞をいただいた。引き続き、商工会代表者による意見表明が行われ、渡辺武副会長、佐藤一美副会長、高橋健副会長、澤田一夫副会長がそれぞれ力強く意見要望し、善田県連会長が内堀知事に要望書を手渡した。

知事を囲む商工会代表者会議

中小企業・小規模事業者の支援体制強化等について要望

知事への要望書



知事講話
「令和元年台風第19号等に係る中小企業の支援策について」

一、令和元年台風第十九号被害に係る早期復旧・復興に向けた支援の充実強化

- ① 災害対応の各種補助事業等の創設と十分な予算の確保
- ② 東日本大震災との二重被災者への配慮
- ③ 過去に補助事業を利用し被害を受けた者への配慮
- ④ 甚大な被害を受けた商店街機能に対する復旧支援事業の創設
- ⑤ 救済措置としての資金繰り支援や災害融資制度の拡充強化

二、東日本大震災・原発事故の影響に対する県内事業者への支援の充実強化

- ① 事業再開、地域経済再生に向けた各種補助金、支援策の継続・拡充
- ② 風評被害の払拭と販路開拓支援の充実

三、中小企業・小規模事業者の持続的発展に向けた支援の強化

- ① 中小企業・小規模事業者発展のための支援施策の拡充強化
- ② 円滑な事業承継や創業・起業に対する支援の強化
- ③ 人手不足に対する積極的な人材確保・育成・定着支援策の拡充強化
- ④ 市町村における小規模企業振興条例制定の推進、及び商工業支援策の強化促進

四、地域経済活性化のための商工会機能の充実強化

- ① 商工会職員配置基準の見直しによる経営支援機能の強化
- ② 支援環境の整備を図るための事務局長設置要件の緩和と拡充
- ③ 長期欠勤者等に対応する臨時指導員等設置費の要件緩和と拡充
- ④ インバウンド需要に対応するための支援施策の充実強化
- ⑤ 農林漁業者との連携を強化するための支援事業の創設

女性部 だより

元気を発信!地域に響け!女性部の力!

内郷商工会女性部は、国宝白水阿弥陀堂を建てられたと言われている「徳姫」に着目して、東日本大震災後、色々な角度から歴史と観光のピーアール活動を試みております。本年度の青年部・女性部復興支援補助金を活用して2つの事業を展開しました。

事業内容は下記の通り

1. 徳姫ちゃまかるた

いわき総合高等学校美術部の生徒たちとコラボして、地域の歴史、観光または社会的問題点、それから商工会の事柄も入れ込みながら、読み札は女性部部員、絵札は美術部部員と共同製作しました。完成したかるたは、内郷地区の6小学校といわき市内郷地区社会福祉協議会へゲームやイベント等で活用して頂くために贈呈いたしました。



徳姫ちゃまかるた

2. 徳姫ちゃまミニマラソン大会

自然災害がもたらした台風19号の水害被害、内郷地区も一般の方々商工会会員様たちも大変な思いをいたしました。せめて、気持ちだけでも元気になって欲しいと、地元の天上田公園内を活用して令和元年12月15日実施いたしました。タレントなすびさんの司会で天気に恵まれ、参加者や応援団、スタッフを含めて約250名の豚汁を無料提供いたしました。



マラソン大会の様子

今回の復興支援事業を行ったことにより、楽しいひとときを地域の皆様と共有出来たことに感謝しております。これからも女性部の力で、元気を発信し、活力ある地域を目指して行きたいと思っております。

(執筆:内郷商工会女性部長 鈴木礼子)

観光振興と特産品開発で地域活性化を

私は、平成三十年五月に会長に就任して組織運営をするに当たって、会員を一番に考え、さらに地域全体をも考えながら、役職員と共に日々邁進しております。

さて、湖南町は、磐梯山の秀峰が一望できる景勝地にあり、四季ごとに楽しんでいただける観光資源があります。春は、水芭蕉の群生地や桜並木で森林浴を、夏は「湖南七浜」が湖水浴場やキャンプ地として賑わいます。また郡山布引「風の高原」のような新たな観光名所も誕生しています。秋には、畑一面が「そばの花」の絨毯となり、十月下旬頃から町内そば屋では新そばを提供しています。冬には雪景色が広がり、白鳥が飛来など、一年を通して多くの観光客が訪れています。



経営革新フォローアップ事業

経営革新新計画策定支援を実施、今までに二十五事業所の経営革新が



湖まつりの様子

水に感謝するイベントとして、毎年七月最終土曜日に湖南町にある七浜の「つ「館浜」にて開催されており、令和二年には第五十五回の節目を迎えます。安全祈願祭を始め郷土芸能発表会、トライ舟体験、さかなつみ大会など、水に親しむ様々な催し物を実施しております。夜には、湖上花火大会を開催しており、湖上に艶やかに花開く花火と湖面に映る花火が美しいと来場者にも喜ばれております。



郡山布引（風の高原）

今後、当商工会としても様々な変化をする時代を乗り切るために、会員を一番に考え、様々な取り組みを行いまた支援してまいります。そして、地元住民や各団体を巻き込み、農工商連携による湖南町独自の六次化商品開発を行い、さらに湖南町への誘客を目指し地域活性化に貢献する覚悟で邁進してまいります。



湖南町商工会の大山司です。

湖南町は郡山市の最西端にあり、猪苗代湖南岸に位置する標高五百メートルから千メートル余りの高冷地帯で、総面積百四十一・七二平方キロメートルであり市内では二番目の広さを持ち、四季ごとに自然豊かな地域となっております。

しかしながら、年々少子高齢化が進み、定住人口も三千人を切るなど減少傾向にあり、商工業の衰退が心配されます。また異常気象に伴う農産物への影響など軽視出来ない状況であり、現在では、商工業、農業、観光が一体となり六次化施策や地域振興策などを地域全体で思案しているところです。

認を受けました。湖南町商工会管内においても平成二十九年度に事業者が承認を受けております。また、PR動画作成支援等の認定事業所への個別支援に力を入れていくと共に、各事業への参加促進により更なる案件発掘を目指しているところです。

「布引風の高原まつり」
標高千メートルあり、磐梯山や猪苗代湖が一望できる絶景の地です。その土地の特性を生かし、高さ百メートルもある風力発電用の三十三基の風車が雄大に立ち並び、高原の風を受けて悠然と回っております。毎年八月末頃にはひまわりやコスモスが同時に楽しめるこの時期に、郡山布引風の高原まつりが開催されます。猪苗代湖と磐梯山に向かって大声で感謝を叫ぶ大声大会や、満開のひまわり畑ウォーキング、午後には布引高原大根の収穫体験や湖南町特産品が当たる抽選会も行われております。

事業承継対策や地域ブランド力強化により地域経済再生を目指して



飯舘村商工会長の菅野一廣です。飯舘村は福島県の北東部に位置し、阿武隈山系北部の高原に開けた豊かな自然に恵まれた美しい村です。

地域の概要について

東日本大震災前の飯舘村は、一次産業が中心で冷害に強い農業である畜産に力を入れ、黒毛和牛の「飯舘牛」はブランド牛として高い評価を得ていました。また、高冷地の条件を生かした高原野菜、トルコギキョウを始めとする花卉、凍み餅、凍み大根、どぶろく（飯舘村は福島県内初の「どぶろく特区」の認定を受けた）等が特産となっていました。農産物直売場や農家レストラン、民宿等も整備され、首都圏との交流事業も盛んに行われ、*までのライフを求めて都会からの「ターナー」者も徐々に増えてきていました。

しかし、平成二十三年三月に発生した東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故により全村避難を余儀なくされました。平成二十九年三月三十一日に一部地区（長泥地区）以外避難指示解除

商工会重点事業

地域内で事業再開を目指す方や既に事業再開した方への持続的発展のため、創業者の発掘を行いながら、伴走型支援を実施しています。加えて、地域行政と連携し、地域資源を活用した地域活性化等支援、更には、補助金や制度資金等を活用しながら、地域経済を再生させることを目標としております。

商工会では、三つの支援事業目標を掲げています

- ① 飯舘村内で再開できていない小規模事業者の事業計画作成支援とフォローアップを行う。
- ② 村内小規模事業者減少を鈍化させるための事業承継に対する取り組みを行う。
- ③ 地域ブランド力の強化により交流人口を増加させる。

地域の観光情報

平成二十九年八月に復興への第一歩として、特産品や農産物の販売、軽食コーナー及びコンビニエンスストアを備えた、道の駅「いいいた」の道の駅まで「いい館」がオープンし、平成三十年度の利用客は約三十七万人となっております。

ホールにはおよそ八十個あまりの色とりどりの花玉が吊るされ、訪れる人の心を癒してくれます。驚くことにこれらは全て生花。花の生産地としても知られる地元で作られたものです。飯舘村はまだまだ復興途中。お店も少ない状況



道の駅までいい館外観



道の駅までいい館内観

「までいい館」
どれもここに出来ないものばかりです。他に食堂やコンビニも併設されていて、お昼時には多くの人で賑わっています。是非、お近くにお越しの際ははお立ち寄りください。



いいいた夏祭り

です。道の駅としてだけでなく、ふだん使いできるスーパーのような役割になつています。飯舘の生産者が手

1つの契約でさまざまなリスクに対応

商工会のビジネス総合保険はこう使う

業務上の事故などによる損害賠償責任は高額になるケースが多く、経営にダメージを与えかねません。経営に関わる損害賠償責任リスクに加え、休業リスクなどを総合的に補償するビジネス総合保険を使えば効率的に対策ができます。

さまざまな損害賠償責任リスクをこれ1つでカバー!

▼プロが目にする▼
特徴

- ☑ 業務に関するさまざまな損害賠償責任リスクを総合的に補償
- ☑ 現在加入している複数の損害保険を1つにまとめ、重複補償をなくして保険料を削減できる
- ☑ 商工会員であれば団体割引適用で最大約35%割引

ビジネス総合保険は、お店などの施設管理が原因の事故、業務中の不注意による事故、販売したもののやサービスが原因の事故、修理中のものを壊してしまう事故など、さまざまな損害賠償責任リスクを総合的に補償します。

会社に必要な補償を選択して補償設計ができるので、複数の保険に加入した場合に生じる**重複した補償をなくして保険料をより安く、満期管理も一本化**することができます。

そのほか、特約を追加すればサイバーリスク、人格権侵害、リコール費用などの新しい損害賠償責任リスクにも備えることができます。また、飲食店が食中毒などにより営業停止処分を受け、売り上げが減少したり、業種問わず**火災・水濡れ・風水害などによって営業ができなくなる休業リスクにも備えることができます。**

■ 賠償事故事例

損害賠償金	業種	事故内容
2億3,130万円	設備工事	排水管から液体が漏出し機械が腐食
1,454万円	飲食	食事をした約200名が食中毒症状



■ 休業事故事例

損害賠償金	業種	事故内容
6,474万円	食品製造	排煙装置が発火し製造ラインがストップ。生産が阻害され利益損害が発生
281万円	装飾品製造	台風で河川が氾濫し工場構内全棟が冠水。機械設備が損傷し工場の生産ラインが停止



▼プロが解説する▼
活用法

- ☑ 業種、業態特有のリスクに合わせて補償を選ぶ

損害賠償責任や休業損害のリスクは業種や業態によって特有であり、必要な補償も異なります。商工会には保険会社4社のビジネス総合保険があります。保険会社によって基本補償に含まれるもの、オプションに含まれるものが異なります。

※本保険の商品説明、見積もり、契約は保険代理店が行います

まずは、自社のリスクを洗い出すことから始めましょう



お問い合わせは商工会へ